

## 札幌市高齢者支援計画 2021 の概要

## 第 1 章 策定にあたって

## 計画の概要

- 地域包括ケアの深化・推進を目指して、高齢者に対し幅広く効果的な支援を行うため、「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に策定することで、高齢者支援施策の総合的な推進と円滑な実施を目指すもの
- 札幌市地域福祉社会計画やさっぽろ障がい者プラン、さっぽろ医療計画のほか、北海道が策定する「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」、医療提供体制の確保を図るための「北海道医療計画」とも整合性が確保された計画

※高齢者保健福祉計画・・・老人福祉事業の供給体制の確保に関して必要な事項を定めるもので、老人福祉法に基づき 3 年を 1 期として策定

※介護保険事業計画・・・介護サービスや地域支援事業の量と費用の推計に基づき第 1 号保険料額を設定するもので、介護保険法に基づき 3 年を 1 期として策定

## 計画の期間

令和 3 年度～令和 5 年度（3 年間）

## 第 2 章 前計画の評価

## 前計画の指標の達成状況

- 家族介護者の介護の負担感（前回より悪化）  
介護サービス等を充実し、家族介護者の負担軽減をはかってきたが、それでもなお、負担感を持つ家族介護者が一定数いる。引き続きニーズに応じた介護サービス等の供給や施設整備などが必要
- 介護人材の採用状況（前回より悪化）  
介護人材に限らず、多業種での人材不足が深刻化しており、改善は難しい状況が続いている。担い手の確保のほか、人材の定着や業務の改善の視点も重要
- 高齢者が知識や経験を生かせる機会（前回より悪化）  
高齢者の社会参加促進の取組を進めてきたが、必ずしも効果につながっていない。介護予防や担い手の確保の視点から、ニーズに応じた社会参加の機会が増えるような働きかけが必要
- 社会参加に対する高齢者の意識（目標未達成）  
地域活動の企画・運営に参加したいと思う高齢者の割合は、目標値未達成だが、一方で、4 割の方が参加してもいいと回答しており、意識醸成だけでなく、それらの活動意欲のある高齢者を地域活動へ確実につなげていく取組も必要
- 地域における相談体制の充実（目標未達成）  
相談先がない高齢者の割合は、やや改善しているが、支援が必要になったときに早期に必要な支援に結び付ける取組が必要
- その他各指標については概ね目標達成

## 第 3 章 高齢者の現状と課題

現 状	現 状
<b>《高齢者人口・世帯等の状況》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市の高齢化率は、北海道、全国に比べて低い</li> <li>高齢単身世帯数、高齢夫婦世帯は増加傾向</li> <li>道内他市町村からの転入超過が続いており、75 歳以上の転入者が多い傾向</li> </ul>	<b>《介護サービスの利用状況》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市の認定率は、全国に比べて高く、要支援者の割合が高いのが特徴</li> <li>認定者のサービス利用割合は全国に比べて低いが、1 号被保険者のサービス利用割合は全国と同程度</li> </ul>
現 状	課 題
<b>《地域での高齢者の生活と支援体制》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化率には大きな地域差</li> <li>単身世帯、高齢者のみ世帯等が増加</li> <li>高齢者の地域への定着意向が強く、また、医療系介護サービスのニーズが高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性に応じた支援が必要</li> <li>周囲とのつながりの弱い高齢者を地域全体で支える体制整備が必要</li> <li>医療と介護の一層の連携が必要</li> </ul>

<b>《家族介護者や生活環境の状況》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護に負担を感じている家族介護者が増加</li> <li>介護と就労の両立が難しいと感じる人が一定数存在</li> <li>制度、文化・情報、意識等のバリアの改善が進んでいないと受け止められている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族介護者の負担も考慮した介護サービス量の確保が必要</li> <li>ハード・ソフト両面のバリアフリー化の取組を継続することが必要</li> </ul>
<b>《介護サービス事業者の状況》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員を計画どおり採用できていない事業所が増加</li> <li>事務量が負担と感じる介護支援専門員が多く存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズ増加に備えた人材確保・育成が必要</li> <li>介護サービス提供にかかる業務改善が必要</li> </ul>
<b>《認知症高齢者の状況》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者は今後も増加が見込まれる</li> <li>認知症サポーターは増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の人や家族を地域で支える体制整備の継続が必要</li> <li>認知症対応型グループホーム等の地域密着型サービスの整備が必要</li> </ul>
<b>《要介護・要支援認定者の状況》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスを利用しない認定者が多い</li> <li>介護サービスを全く利用したことがない理由は、サービス利用がなくても生活できるからが最多</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防活動につなげる等の適切な支援の継続が必要</li> <li>ボランティアなど多様な担い手による支援方法へつなぐ体制整備が必要</li> </ul>
<b>《高齢者の心身の状況と活動状況》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康維持に向けた関心や意欲が高い</li> <li>就業意欲は高い一方、社会参加の機会がないと思う高齢者が一定数存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での支えあいの中で健康づくりや介護予防につながる仕組みづくりが必要</li> <li>高齢者が活躍できる社会づくりが必要</li> </ul>
<b>《介護保険制度の現状》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者人口の増加、少子高齢化は今後も進行</li> <li>保険給付費は増加見込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切かつ自助・互助・共助・公助のバランスを考慮した持続可能な制度運営が必要</li> </ul>

## 第 4 章 基本目標

## 基本目標

2025 年、2040 年の超高齢社会を見据えた目標

いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり

## 札幌市が目指す高齢者支援体制

これまでの取組	2040 年を見据えた基盤整備
<b>《高齢者と家族を支える支援体制の充実》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中重度要介護者や認知症高齢者の生活の場を確保</li> <li>中重度要介護や認知症になっても住み慣れた地域で在宅生活が続けられる環境の整備と家族介護者の介護負担軽減</li> <li>生活支援サービス等の担い手や社会資源をコーディネート</li> <li>認知症の人と家族を地域で支える体制の整備</li> </ul>	① 高齢者支援の中核として、地域包括支援センターの機能、体制強化 ② 生活の場となる住まい・施設の実態把握と今後のあり方を検討 ③ 複合的な課題や制度の狭間の課題を抱える世帯に連携して対応できる支援体制を構築 ④ その時々々のニーズに対応した、効果的かつ効率的な介護サービスが提供できるよう、保険者機能を強化
<b>《自立支援・重度化防止の推進》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険サービスを利用していない要支援者を介護予防活動につなげ、重度化を防止</li> <li>地域の福祉活動と連携した介護予防教室の開催や地域住民による主体的な介護予防活動を支援</li> </ul>	⑤ 保険者機能を発揮した、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントの推進 ⑥ 予防と共生を両輪とする認知症施策の推進 ⑦ 関係機関と連携した健康寿命延伸の取組の推進
<b>《担い手の確保と社会参加の促進》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護人材確保に対する支援</li> <li>高齢者の出番と役割の機会拡大</li> </ul>	⑧ 意欲のある高齢者を地域での介護予防活動などに結び付ける仕組みづくり ⑨ 自助・互助が息づく地域づくりの推進 ⑩ 社会参加への意識醸成と機会の拡大を検討

## 第5章 施策の体系と展開

### ＜施策1＞高齢者支援の基盤整備と社会参加の促進

#### 施策の方向性

- ☞ 高齢者人口と生産年齢人口が逆転する社会構造にあっても、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための基盤づくり
- ☞ 多くの高齢者が、積極的に社会参加することで、本人の健康や生きがいが向上するとともに、高齢者の活躍が地域社会に生かされていくように、きっかけづくりや活躍の場につなげる環境づくり
- ☞ 超高齢社会にあっても、持続可能な支援体制の構築

#### 主な取組

- 介護サービス等の充実
  - ・ 居宅サービスの確保
  - ・ 特別養護老人ホームの整備
  - ・ 介護保険施設等開設準備経費補助事業
  - ・ 住宅確保要配慮者居住支援事業 **強化**
  - ・ サービス付き高齢者向け住宅の供給促進
- 高齢者が活躍できる地域づくり
  - ・ シニア世代の社会参加に係る啓発事業
  - ・ シニアワーキングさっぽろの開催
  - ・ まちづくりパートナー協定企業との連携
  - ・ 介護サポートポイント事業
  - ・ 心のバリアフリー推進事業
  - ・ シルバー人材センターへの支援
- 高齢者が暮らしやすい環境づくり
  - ・ 福祉のまちづくり推進会議の開催
  - ・ 札幌市バリアフリー基本構想に基づく整備促進
  - ・ 民間公共的施設バリアフリー化推進のための財政的支援 **新規**

### ＜施策2＞地域の連携強化と地域共生社会の実現

#### 施策の方向性

- ☞ 高齢者や家族介護者の多様なニーズに対応できるよう、多機関協働による包括的支援体制の構築
- ☞ 高齢化に伴い増加する医療的ケアのニーズに対応するため、医療と介護の関係者間のネットワーク機能の強化等

#### 主な取組

- 多様な支援ニーズに対応した区役所等の機能強化
  - ・ 仮称) 基幹型支援センター **新規**
  - ・ 区役所における総合的・横断的な相談対応
  - ・ 専門機関や住民主体の組織を包括的に結びつけるような仕組みの構築 **強化**
- 相談・見守り体制の充実、医療と介護の連携強化
  - ・ 地域包括支援センターの機能強化 **強化**
  - ・ 地域ケア会議の推進
  - ・ あんしんコール事業の実施
  - ・ 在宅医療・介護連携推進事業
  - ・ さっぽろ医療計画推進事業
  - ・ 高齢者等の在宅医療ネットワーク推進事業

### ＜施策3＞介護予防・健康づくり施策の充実

#### 施策の方向性

- ☞ 身近な地域で心身や生活の状況に合わせた介護予防に取り組むことができるよう、介護予防の普及啓発を進めるとともに、専門職の関与の上で効果的な住民主体の介護予防活動の充実に向けて支援
- ☞ 健康寿命の延伸に向けて、高齢者の健康づくりの取組を支える環境を充実

#### 主な取組

- 介護予防活動の推進
  - ・ 介護予防活動の充実
- 高齢期の健康づくり
  - ・ データ活用による地域分析 **新規**
  - ・ 後期高齢者健康診査及び特定健康診査の実施

### ＜施策4＞認知症施策の推進

#### 施策の方向性

- ☞ 認知症になっても本人やその家族が地域で安心して暮らせるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行う。また、認知症を早期発見し適切な支援につなげられる体制づくりを進める。
- ☞ 状況に応じた適切な保健・医療・福祉・介護サービスを提供するネットワークを構築し、必要な介護サービスを整備することで認知症の人とその家族を支える。

#### 主な取組

- 認知症の方と家族を支える地域づくり
  - ・ 認知症サポーター養成講座の実施強化
  - ・ 認知症カフェの支援
  - ・ 成年後見制度の利用促進 **強化**
  - ・ 認知症に関する相談窓口の周知
  - ・ 認知症初期集中支援の実施
- 認知症の方を支える介護サービス等の充実
  - ・ 認知症高齢者グループホームの整備
  - ・ 地域密着型サービスの充実

### ＜施策5＞人材確保と業務効率化の取組

#### 施策の方向性

- ☞ 介護職員のほか介護分野に携わる専門職を確保する取組を進めます。
- ☞ ICTの活用などにより介護現場の業務効率化を図ります。
- ☞ 元気な高齢者やボランティアの活躍など、社会全体で地域包括ケア体制を支える取組を進めます。

#### 主な取組

- 超高齢社会を支える担い手の確保
  - ・ 若年層に対する介護イメージアップ啓発 **強化**
  - ・ 外国人介護人材の確保に対する支援
  - ・ 介護のおしごとPR動画作成 **新規**
  - ・ 新任介護職員・育成担当者向けのフォローアップ研修 **新規**
  - ・ 地域人材の介護助手活用促進 **強化**
- 超高齢社会を見据えた業務効率化
  - ・ 介護現場におけるAI・ICT普及促進 **新規**
  - ・ 介護認定審査会の簡素化等 **強化**

### ＜施策6＞災害・感染症対策の体制整備

#### 施策の方向性

- ☞ 災害にあっても、安定的に介護サービスを提供できる体制づくりの強化等を図ります。
- ☞ 感染症の発生に備えて運営体制を強化するほか、感染症拡大防止に向けた対策等を講じます。

#### 主な取組

- 防災に向けた備えの強化
  - ・ 要配慮者二次避難所の確保
  - ・ 新設特別養護老人ホームの非常用自家発電設備補助
- 感染症対策の強化
  - ・ 介護事業所に対する感染症研修等の実施 **新規**
  - ・ 社会福祉施設等における事業継続計画の策定 **新規**

### ＜施策7＞安定した介護保険制度の運営

#### 施策の方向性

- ☞ 公平公正かつ自助・互助・共助・公助のバランスを考慮した事業運営を行います。
- ☞ 保険者機能を発揮し、PDCAサイクルにより給付適正化を図ります。
- ☞ 効率的かつ効果的に介護サービス等の質を向上させる取組を推進します。

#### 主な取組

- 適切で安定的な事業運営
  - ・ 縦覧点検・医療情報との突合
  - ・ ケアプラン点検の実施 **強化**
  - ・ 高額介護サービス費等の申請勧奨と支給 **強化**
- 介護保険サービス等の質の向上
  - ・ 介護サービス事業者への指導及び指導事項等の公表
  - ・ 事業者情報の公表の促進
  - ・ グループホーム等の外部評価結果の公表の促進
  - ・ グループホーム管理者連絡会議の支援
  - ・ ケアマネジメントの基本方針